

ネパール野球伝授プログラム

期間 1999/9/5～9/26 行き先 ネパール：カトマンズ、ポカラ

日付	旅程	宿泊
9月5日 土曜日	午前10時40分、関西国際空港旅客ターミナルビル4F、Bカウンターに集合。RA412便(12:40発)にて出発。同日18:45カトマンズ着。時差3時間45分。	ホテル
9月6日	終日自由行動	
9月7日	空港ポカラへ向けて出発	アパート
9月8日	開校式、練習開始 (火曜日)	
9月9日 10日	練習	
9月11日	休み (金曜日)	
12日～ 14日	練習	
9月15日	休み (火曜日)	
16～ 17日	練習	
9月18日	休み (金曜日)	
19～ 21日	練習	
9月22日	修了式 (月曜日)	
9月23日	カトマンズへ (火曜日)	
9月24日	自由行動 (水曜日)	
9月25日	AM0:05 RA411便にて帰国 (木曜日)	
9月26日	関西国際空港到着 (金曜日)	自宅

ネパール研修旅行計画

期間：2000年9月3日（日）～9月24日（日）

行く先：ネパール カトマンズ / ポカラ

日付	旅程	宿泊
9月3日(日)	午前10時30分、関西空港旅客ターミナルビル4F、Bカウンターに集合。 RA 412便（13：00発）にて出発。 同日、18：45カトマンズ着	ホテル (カトマンズ)
4日(月)	午前 カトマンズ大学訪問 午後 ホストファミリーと対面	ホームステイ
5日(火)	ホストファミリーと朝食。9：00 A.M.ホテルへ バスにてポカラへ出発（ポカラまで5、6時間）	ホテル (ポカラ)
6日(水)	Shree Siddha Secondary School にて活動開始	
7日(木)	日本語、文化交流の授業開始	
8日(金)		
9日(土)	休日	
10日(日)	日本語、文化交流の授業	
11日(月)		
12日(火)		
13日(水)	休日	
14日(木)	日本語、文化交流の授業	
15日(金)		
16日(土)	休日	
17日(日)	日本語、文化交流の授業	
18日(月)	運動会	
19日(火)	修了式（ネパール文化紹介）	
20日(水)	カトマンズへ	
21日(木)	「やさしさ」日本語学校訪問 学生と観光	ホテル
22日(金)	ボランティア活動	(カトマンズ)
23日(土)	ボランティア活動又はフリー 午後10時空港へ	機中
24日(日)	午前 0：05、RA 411便にて帰国。 同日午前11：40 関西空港到着	

カトマンズ4泊（内ホームステイ1泊）

ポカラ1泊

持ち物：(必携帯のみ記載)

パスポート、虫よけ、虫さされ、胃薬、懐中電灯、洗濯石鹸、ポケットティッシュ、ナップザック、帽子、サンダル、綿棒、殺菌用石鹸。

◎搭乗時に預けられる荷物は一人20kgまでです。必ず名札をつけること。

◎ネパールではゴミ処理問題が存在しているためゴミのでにくい物を用意。

お金

特別な買い物をしないか切り五万円あれば十分です。(このプログラムには昼食、夕食分は含まれてはいません) 銀行でドルに換金する際は額の小さな紙幣にしておく方が便利です。特に100ドル札や50ドル札は避けた方がいいでしょう。両替は日本円でも現地で両替できます。

保険：参加者が独自に付けてください。

ビザ：カトマンズ空港の入国管理者事務所で取得します。その際の費用\$25をお釣りの入らないよう用意しておくこと。ビザ申し込みの際、パスポートサイズの写真が一枚必要となります。予備を含め2枚用意しておくこと。

航空券：団長が保管。

空港使用税：関西国際空港を出る際、2,650円、帰国の際にカトマンズの空港で700ルピー必要となります。準備しておくこと。

連絡先：カトマンズのホテル名、ポカラのアパート名は後日連絡します。下記が今回の研修プログラムの受け入れ団体です。大阪にも連絡先があるので緊急の際は下記のいずれかに連絡をすれば必ず連絡が付きます。

<カトマンズ>

ESODEC(Educational and Social Development Center Nepal)

Post box 1633,Hattisar,Kathmandu,Nepal

Phone: 001-977-1-415779 Fax: 001-977-1-434879

担当者名: Hari Man Lama (ハリ・マン・ラマ氏)

<大阪>

アスカトラベル

大阪市北区西天満 6-2-14 梅田天祥ビル No,2

Phone: 06-6365-5353/5530 Fax: 06-6365-5733

担当者名: MR.Hirachan (社長ヒラチャン氏)

ネパール研修旅行事前準備会計画

日本文化紹介グループ

水曜日3限 於：c102

金曜日5限 於：c102

第1回	6月7日・9日	スケジュール, 事前研修について	
第2回	6月14日・16日	文化紹介について	
第3回	6月21日・23日	日本語のテキストについて	
第4回	(6月28日・30日)	日本語教案づくり	
第5回	7月5日・7日	日本語教案づくり	
第6回	7月14日・16日	日本語教案づくり	
第7回	(7月28日	現地の活動について)	
第8回	8月 9日	午前 *宗教・文化レクチャー	午後 <u>ネパール語</u>
第9回	8月23日	午前 文化紹介準備	午後 <u>ネパール語</u>
第10回	8月30日	午前 *	午後 <u>ネパール語</u>
第11回	9月 1日	最終打ち合わせ・お祈り	

野球紹介グループ

水曜日3限目 於：ホワイエ

第1回	6月28日	活動内容について (昨年の反省)	
第2回	7月 5日	募金活動計画	
	7月11日	昼休み学内募金活動	
第3回	7月14日	現地での野球指導マニュアル作り	
26日	(7月28日	現地の活動について)	
第4回	8月 3日	野球練習 11:00 ~ 14:00	
第5回	8月 6日	学外募金活動	
第6回	8月 9日	午前 * 宗教・文化レクチャー	午後 <u>ネパール語</u>
第7回	8月10日	野球練習	
第8回	8月23日	*	午後 <u>ネパール語</u>
第9回	8月24日	野球練習	
第10回	8月30日		午後 <u>ネパール語</u>
第11回	9月 1日	最終打ち合わせ・お祈り	

ネパール研修旅行事前準備会計画
 募金の用意 - マスク、紙、精、
 手拭い、タオル、
 田んぼの手拭い

*印 はネパール文化・宗教・地理等のレクチャー。(各専門の先生より) 日時の移動有。
 下線部は野球・日本文化紹介両グループが参加。

原則的に6, 7月中の水曜日, 金曜日の準備会は同じ内容で行う。8月は週1回程度全員参加で実施。準備会は先回の参加者が中心となって引率者の指導の下行う。

野球紹介活動グループは, 4回生の花倉雄字也が中心に, 準備をすすめる。上記の準備会回数と同等の時間数準備会を予定。また, 文化・宗教・地理等のレクチャーは全員が出席することとする。

ネパール語練習は, 留学生ヒラヤン・マにお願いする予定。

水曜日3限 於：c102

金曜日5限 於：c102

第1回	6月7日・9日		スケジュール, 事前研修について	
第2回	6月14日・16日		文化紹介について	
第3回	6月21日・23日		日本語のテキストについて	
第4回	(6月28日・30日)		日本語教案づくり	
第5回	7月5日・7日		日本語教案づくり	
(第6回	7月14日・16日		日本語教案づくり)	
第7回	8月2日	10:00 ~ 14:00	午前 文化紹介準備	午後 ネパール語
第8回	8月9日	*	午前 *	"
第9回	8月23日	*	午前 *	"
第10回	8月30日	*	午前 グループ準備	"
第11回	9月1日		最終打ち合わせ お祈り	

*印はネパール文化・宗教・地理等のレクチャー。(各専門の先生より)日時の移動有。

原則的に6, 7月中の水曜日, 金曜日の準備会は同じ内容で行う。8月は全員参加。準備会は先回の参加者が中心となつてすすめ, 引率アシスタントがアドバイスをする。引率アシスタントは随時引率者に指示をおおぎ, また準備会の報告をする。

野球紹介活動グループは, 4回生の花倉雄宇也が中心に, 準備をすすめる。上記の回数と同等の時間数準備会を予定。また, 文化・宗教・地理等のレクチャーは全員が出席することとする。

ネパール語講座

人の教え方

- 一人: エクジャナ
- 二人: ドウィジャナ
- 三人: ティンジャナ
- 四人: チャルジャナ
- 五人: パーツジャナ
- 六人: ツアジャナ
- 七人: サートウジャナ
- 八人: アートウジャナ
- 九人: ノウジャナ
- 十人: ダスジャナ

物の教え方

- 一つ: エウタ
- 二つ: ドウィワアタ
- 三つ: ティンワアタ
- 四つ: チャルワアタ
- 五つ: パーツワアタ
- 六つ: ツアワアタ、ツアオタ
- 七つ: サートウワアタ
- 八つ: アートウワアタ
- 九つ: ノウワアタ
- 十つ: ダスワアタ

家族の呼び方

- 母、お母さん: アマ、
- 父、お父さん: ブバ
- 祖母、おばあさん: ハジュルアマ
- 祖父、おじいさん: ハジュルブバ
- あね、お姉さん: ディディ
- あに、お兄さん: ダーイ
- 妹: バヒニ
- 弟: パイ

家族の紹介

- お元気ですか: サンチャイフヌフンチャ
- あなた: タパイ
- も: パニ
- 先生: シチャック、サル
- の: コ
- そうですか: エ テェソボ
- と同じ: ウスタイ
- ね: ハイ、ハギ
- 家族: パリワル
- そして: ティスパツィ
- みんな: サバイジャナ
- とても: デライ

物の説明

- これ: ヨ
- プレゼント: ウパハル
- わあ: オッホ!
- 何ですか: ケ ホ?
- 財布: パイサラックネタイリ
- どうもありがとう: ダンニャバード
- それ、あれ: ティヨ
- ではありません: ホイナ (物/人が違う時)
- ありません: ツアイナ (物/人がいないとき)
- どれ: ケン

物の名前

- 本: キタブ
- えんぴつ: シサカラム
- 消しゴム: Rubber, Eraser
- ノート: カピ
- かばん: ソラ

めがね： チヤスマ
 新聞： パットウリカ
 時計： ガディ
 傘： チアタ
 靴： ジュッタ
 鍵： サツオ
 机： テーブル
 椅子： クルシイ
 しょうゆ ソヤソース
 ソース： ソース

建物の名前

学校： イッスクール
 病院： アスパタル
 銀行： Bank
 お寺： マンディル
 王宮： ダルバール
 店屋： パサル
 公園： Park

一日の予定

明日： ボリ
 昨日： ヒソウ
 どこ： カハ
 今朝： アジヤ

動詞

行きます、行きました： ジャンツウ、ガエ
 します、しました： ガルツウ、ガレ
 飲みます、飲みました： ビウツウ、ピエ
 食べます、食べました： カンツウ、カエ
 寝ます、寝ました： スツウ、ステ
 起きます、起きました： ウツウ、ウテ
 帰ります、帰りました： パルカンツウ、
 パルキエ
 読みます： パツツウ
 吸います： ビウツウ
 見ます： ヘルツウ

聞きます： スンツウ
 書きます： レックツウ
 とります (写真)： キツツウ
 しませんでした： ガリナ (以上の
 も同じく、イにしてナを付ける)

何： ケ
 毎日： ディンディナイ
 何時： カティバアジェ
 起きる： ウトウヌ
 早い： ツアダアイ
 遅い： ディロ
 今朝： アジヤ・ビハン
 そうですか： テェーソホ
 少し： アリカティ
 勉強： パダイ
 それから： テェスパチ
 何も： ケヒパニ
 もう少し： アルアリカティ
 安くしてください： サストガリディノス
 どうですか： テイクフンチャ
 いいですよ： フンチャ
 どうぞ： パルヌホス
 いらっしゃいませ： スワガトチャ
 をください： ディヌホス
 有難う御座います： (ドライデライ) ダンニャバ
 ード

買います： キンツウ
 わかりました： タハバヨウ、ブゼ

数字

100： サエ (エクサエ)
 200： ドウイサエ
 300： ティンサエ
 400： チャルサエ
 500： パーツサエ
 600： ツアサエ
 700： サートウサエ

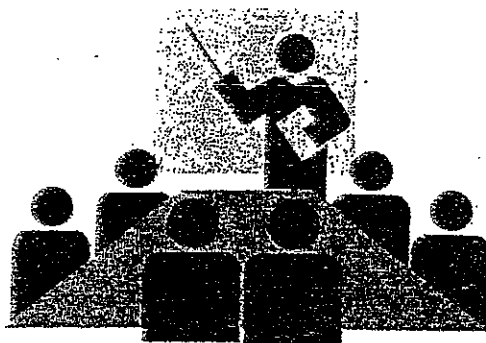
800 : アートゥサエ
900 : ノウサエ
1000 : ハザール (エクハザール)
2000 : ドウィハザール
10000 : ダスハザール
100000 : ラック (エクラック)

買い物

いくら : カティ?
高い : マハンゴ
安い : サスト

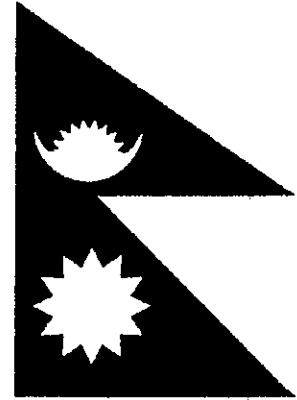
日付

曜日 : バル
時間 : サマヤ
約束 : バチャ
→ ええ : ア
そうしましょう : テソ ガラウ
今晚 : アジャ ラティ
日本料理 : ザパニ パリカル
すみません : ツヤマバウ
残念ですね : ビヤルタバヨウ
中国料理 : チンコ パリカル
じゃあ、そうしましょう : フンチャ、ティソ
ガロウ
ましょう : ガロウ
お祭り : ベーラ、チャード



ネパール

- 1. 面積 147,181km² (北海道の約2倍)
- 2. 人口 2191万8千人
- 3. 首都 カトマンズ
- 4. 気候 雨季 (6月~8月) 乾季 (9月~5月)



- 5. 歴史
カトマンズ盆地には2000年以上前から先住民族のネワール族が定着していた。4世紀にリッチャビ王朝が成立、8世紀から中世に入るとマッラ王朝が成立した。マッラ王朝時代には建築、工芸などのネワール文化が開花した。18世紀に近隣の小王国であったゴルカ王国のシャハ家がカトマンズを征服し、現在に至るまで続くゴルカ王朝(シャハ王朝)を建てた。
- 6. 経済
人口の大多数は農業に従事しており、食料はほぼ自給している。工業製品の多くはインドからの自給に頼っており、日用品は中国製が多い。
- 7. 宗教
国教はヒンズー教。国民の90%近くの人がヒンズー教徒である。ネパールではヒンズー教と仏教が融合した、独特の宗教が見られる。ヒンズー教ゆえカースト制度が現在まで残っている。
- 8. 教育
小学校5年、中学校2年、高校3年 ネパールの学校には進級試験がある。
識字率は成人でも約40%といわれ、女子はわずか25%しかない。農村では女性に教育はいらぬという意識が強く残っている。
- 9. 社会問題
環境問題 ゴミ問題や大気汚染問題
児童労働

カースト >

オバパル

野球

交流プログラム

(紹介マニュアル)

がんばっていきこう!

ポール学院大学

なまえ

ネパール紹介交流プログラム 紹介マニュアルとは

第1回ネパール野球紹介活動のときは、活動の全てが初めてで、野球の知られていない国ネパールで野球を紹介する経験も全くなかったため、事前に現地での練習内容について綿密に話し合った。

そして、第1回目の活動を始めるにあたって、活動のためのマニュアルが必要であるということで、マニュアルを作成することになった。その作成に当たり、ネパールで野球を知らないネパールの人たちに野球の楽しさを理解してもらうためには日々の練習をどう進めていけばいいか、ということについて話し合いを重ねた。そして、野球の知識がゼロの時点から楽しく試合ができるまでの毎日の練習内容をマニュアルとして作成し、毎日の準備体操の順番、毎日の活動の内容と各自の指導のポジション（配置）を決めていった。他にも、メンバー全員が指導内容を統一しておくが必要があると考え、指導の際の注意点についても話し合った。

これは、日本語研修プログラムの活動の進め方を参考に考え出されたものであった。

第1回ネパール野球紹介活動では、このマニュアルを元に活動を進めていった。しかし、子供たちの飲みこみが予想以上に早く、第4日目当たりから予定していた日数よりも少し早めて指導することになった。

第1日目

野球の紹介・キャッチボール

<目標>

- ①前半：これから教えていく人たちとの交流。野球についての説明と理解を深める。
- ②後半：練習を開始し、キャッチボールにおける指導を行う。

<進行>

- ①自己紹介
- ②生徒の名前を尋ねる（名札を用意）
- ③野球について
 - ・硬式ボールの紹介・日米のプロ野球の様子をビデオで紹介・道具について
- ④質問
 - 休憩———
- ⑤野外へ移動
- ⑥準備体操 準備体操は円を作り代表者が真ん中に一人たつ
- ⑦キャッチボールの手本を見せる
- ⑧道具の用意
- ⑨ボールの握り方の説明・投げ方の説明
- ⑩キャッチボールの実践

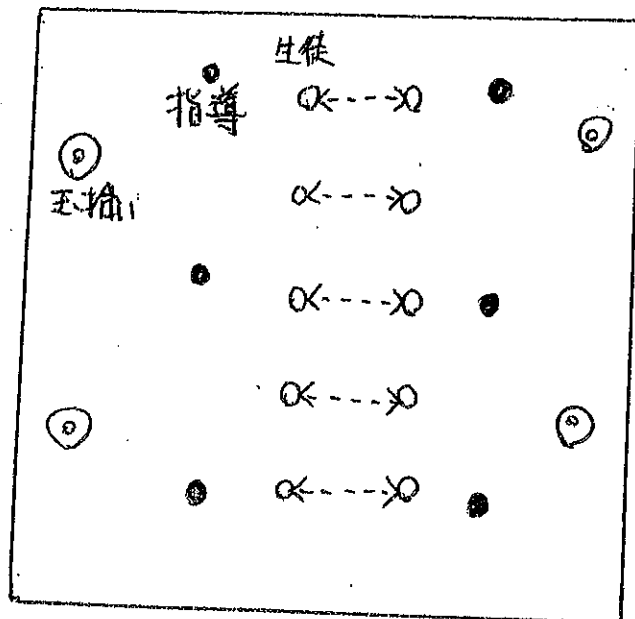
<用意する物>

名札、救急箱、水、コップ、ビデオテープ、グローブ、バット、ボール（硬式、軟式）、ヘルメット、キャッチャー用具、ガムテープ

<注意点> 投球フォームの統一

- ・相手の胸にめがけて投げる
- ・両手で捕球する
- ・グローブのポケットで捕球する
- ・肘を挙げて投げる
- ・手首のスナップ
- ・身体全体で投げる

<フォーメーション>



※ピッチャーを探してし育成する

第2日目

キャッチボール・ノック (近距離)

<目標>

@ ボールの処理技術を高める。

<進行>

- ① 準備体操
- ② 道具の用意
- ③ キャッチボール
- ④ ワンバウンド・ゴロでのキャッチボール
—— 休憩 ——
- ⑤ ワンバウンド・ゴロでのキャッチボール
- ⑥ ノック開始 (手本を見せる)
- ⑦ ノック実践 (ボールをとりキャッチャーに返球) : ノックの途中に休憩を一回入れる

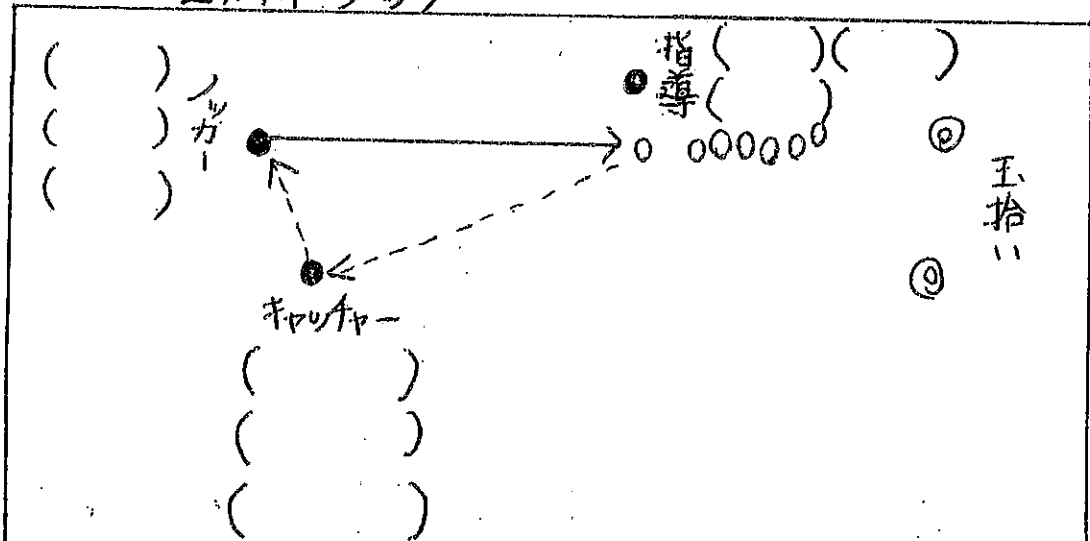
<用意するも>

グローブ、ボール、バット、救急箱、水、コップ

<注意点> 捕球を重視.

- ・最初はゆっくりノック
- ・腰を低く
- ・両手で捕球
- ・ボールを最後までよく見る
- ・正面で捕球
- ・グローブを早めに出す
- ・返球は落ち着いて
- ・ノックを受ける前に声を出して合図をもらう

<フォーメーション> 2カ所 ノック



第3日目

ノック（長距離）＋フリーバッティング

<目標>

前半：長距離ノックをして外野での守備技術を高める

後半：フリーバッティングを行い打撃の楽しさを理解してもらう

<進行>

①準備体操

②道具の用意

③キャッチボール<30分>

④キャッチボール（遠投）<30分>

———休憩———

⑤長距離ノック（手本を見せる）

⑥ノック実践（ボールを取り中継に返球）

———休憩———

⑦フリーバッティングの説明（バットの握り方・フォームの説明）

⑧フリーバッティング（手本を見せる）

⑨フリーバッティング実践（守備位置は野球時の体系でキャッチャーまで返球）

<用意する物>

グローブ、ボール、バット、ヘルメット、キャッチャー用具、救急箱、水、コップ

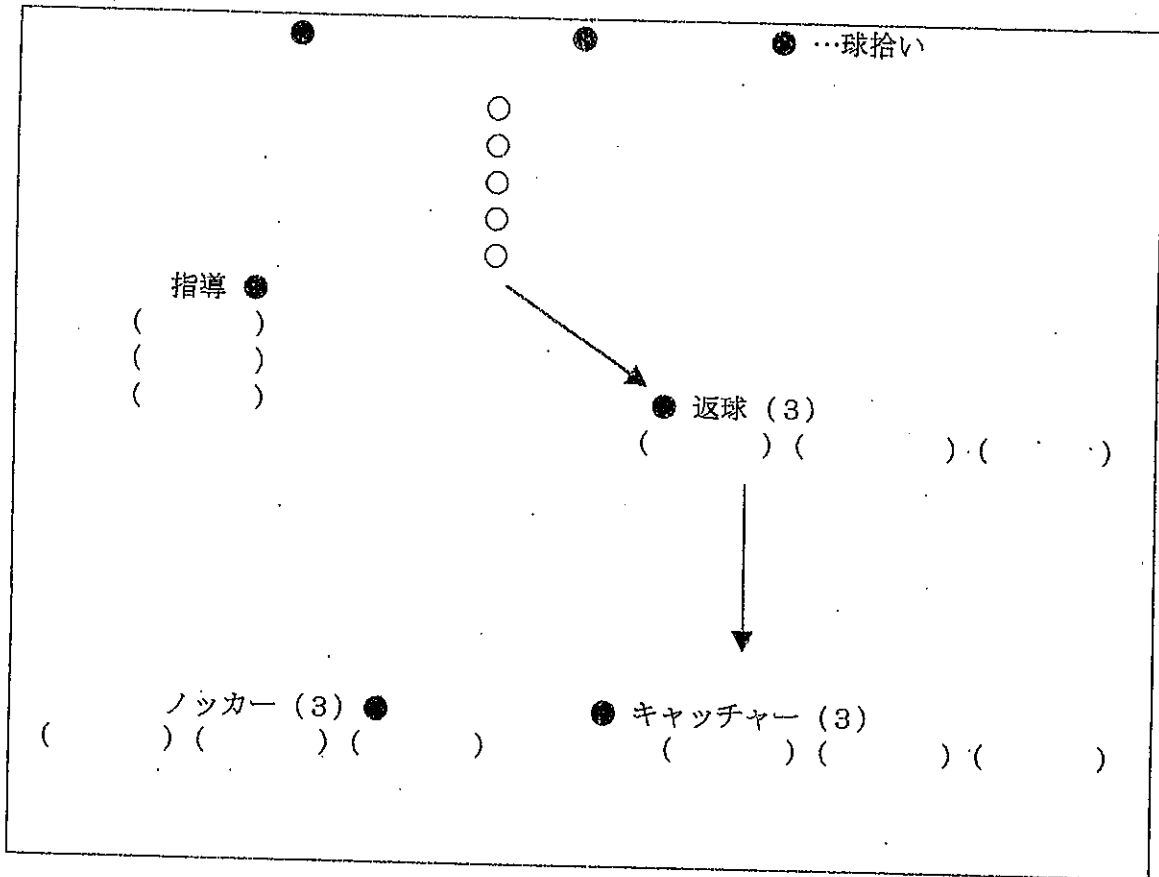
<注意点>

ノック（捕球を重視）

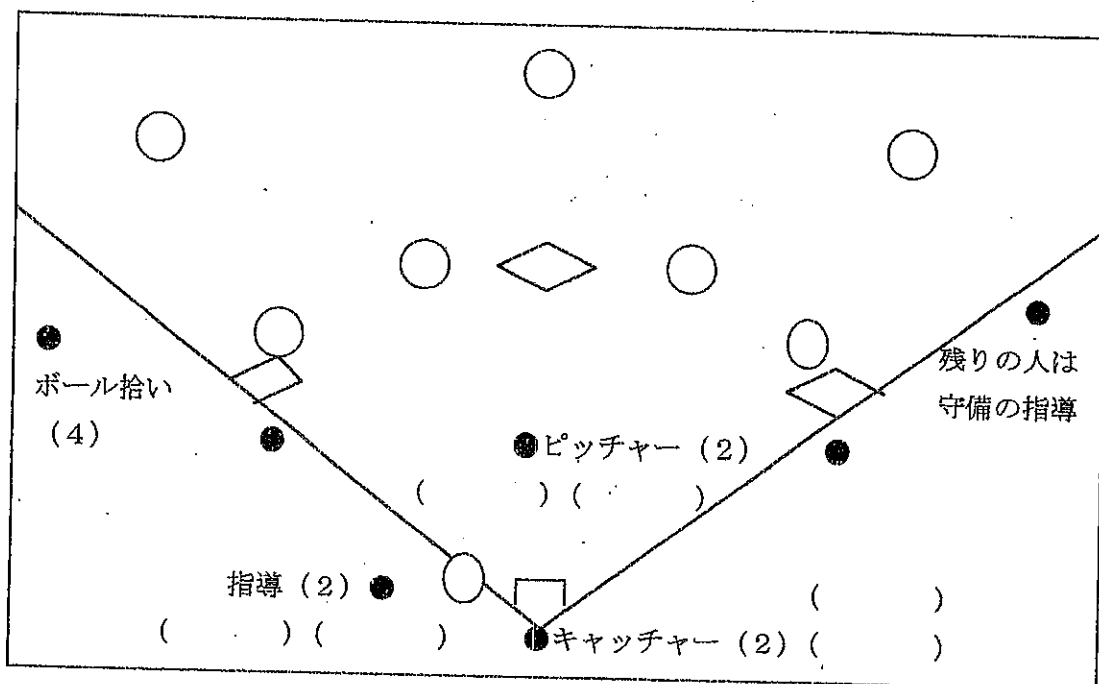
- ・最初はゴロでゆっくりノックする
- ・腰を低く
- ・両手で捕球
- ・ボールを最後までよく見る
- ・正面で捕球
- ・グローブを早めに出す
- ・フライの場合、落下点にすばやく移動する
- ・ノックを受ける前には声を出して合図してもらう
- ・フェールライン内にめがけて打つ

<フォーメーション> 第3日目

・ノック時 (2ヶ所)



フリーバッティング時 (一ヶ所)



第4日目

バッティング+走塁（一塁へ）、ルール説明

<目標>

野球の基本的なルール（アウト、セーフ、走塁、ストライクゾーン）を理解してもらう

<進行>

- ①準備体操
- ②道具の用意
- ③キャッチボール（30分）
- ④キャッチボール 遠投（30分）
———休憩———
- ⑤今までの実力を見て、つり合うようにチーム分けをする
- ⑥ストライクゾーンの説明
- ⑦バッティング（手本）と走塁、ルールの説明
- ⑧手本を見せる
- ⑨一人ずつ実践指導を行う（途中休憩を入れる） @あまり細かく教えない

<用意する物>

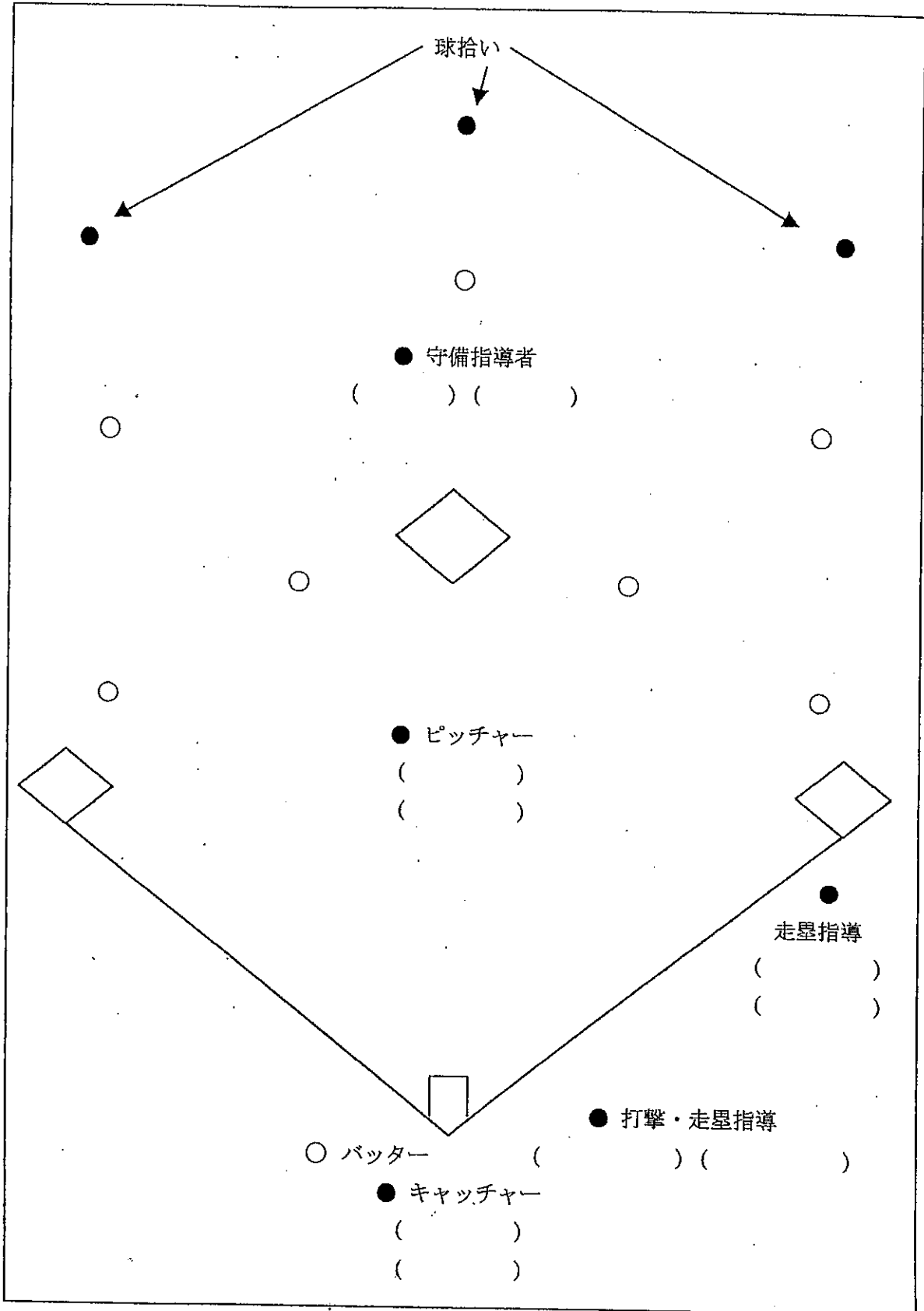
グローブ、ボール、バット、ヘルメット、キャッチャー用具、ベース
救急箱、水、コップ

<注意点>

- ・今回は一塁への走塁のみを教える
- ・守備…内野は一塁へ送球（手本で見せていく）
外野は内野へ送球する
- ・打ってから走る
- ・走者は一塁を走り抜ける
- ・2チームに分ける
- ・遠くに飛んだら一塁を通過して止まる
- ・近かったら走り抜ける

<フォーメーション> 第4日目

・バッティング+走塁時



第5日目

バッティング+走塁（一塁～ホーム）

<目標>

バッティングでの二塁打、三塁打を理解してもらう

<進行>

①準備体操

②道具の用意

③キャッチボール

④キャッチボール（遠投）

———休憩———

⑤2ヶ所ノック（近距離）

⑥2ヶ所ノック（長距離）

———休憩———

⑦チーム分け

⑧バッティングと一塁への走塁、二塁打、三塁打での走塁（手本）を教えアウト・セーフの区別をはっきりとさせる（セーフゾーンの説明）

⑨バッティング実践

<用意する物>

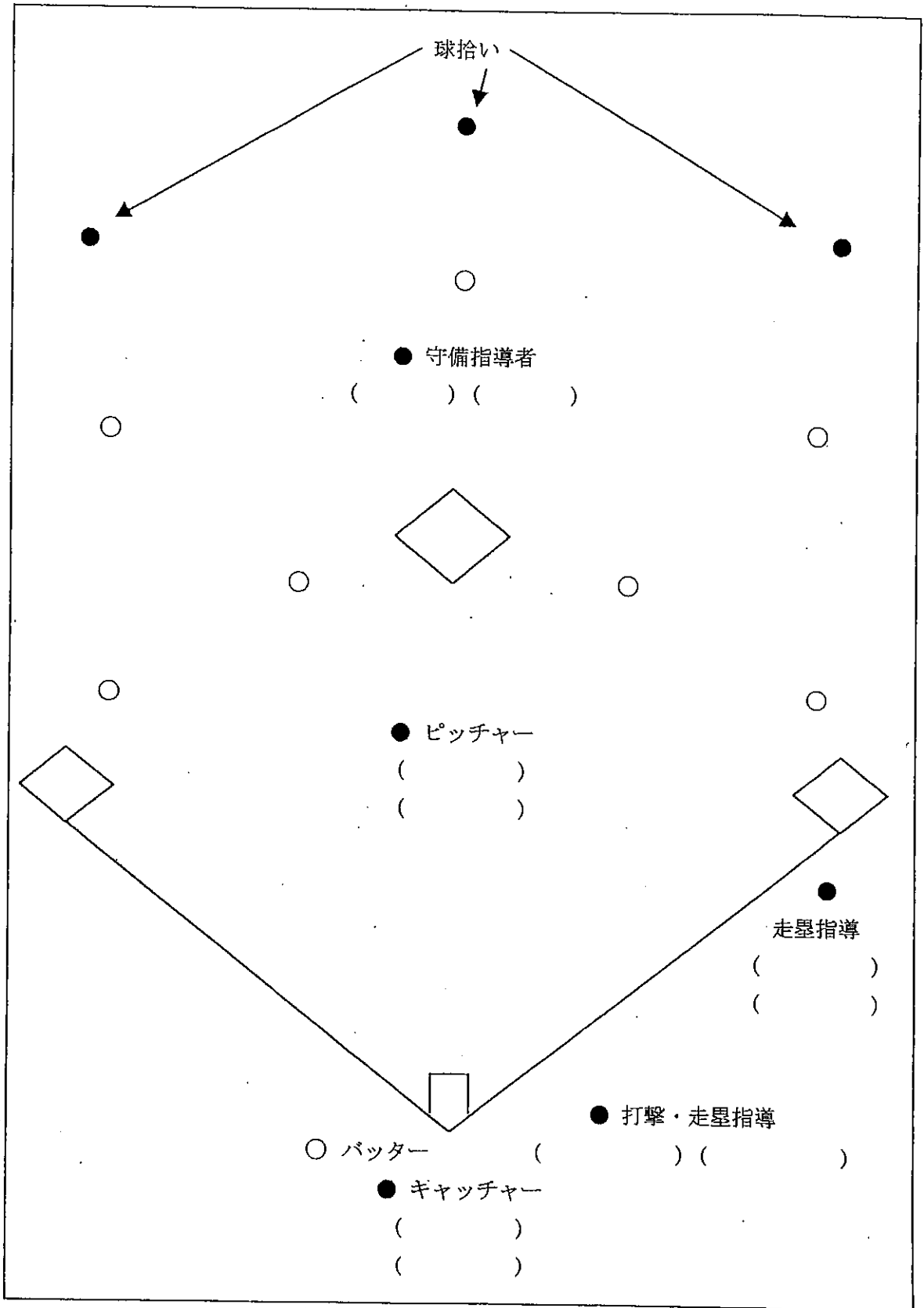
グローブ、ボール、バット、ベース、ヘルメット、キャッチャー道具、
救急箱、水、コップ

<注意点>

- ・今回はランナーは無しで二塁打、三塁打での走塁、アウト・セーフを教える
- ・守備：内野はランナーのいるところに送球
外野は内野へ送球
- ・打ってから走る
- ・走塁は二塁を目視することを頭に入れておく
- ・近かったら走り抜ける
- ・遠かったら次の塁を目指す
- ・2チームに分ける
- ・フォーメーションは4日目と同じ

<フォーメーション> 第5日目

・バッティング+走塁時



第6日目

<目標>

攻撃時の得点方法、スリーアウトチェンジ、アウト、セーフゾーンを理解してもらう

<進行>

- ①準備体操
- ②道具の用意
- ③キャッチボール (30分)
- ④キャッチボール (遠投)
———休憩———
- ⑤チーム分け (ピッチャーの投入)
- ⑥攻撃時の得点方法 (手本)

ランナー無し

↓

ヒット

↓

ランナー有りの時、バッターが打つとランナーは走る
(タッチアウト、セーフゾーンの説明)

↓

ホームまで帰れたら得点

↓

スリーアウトでチェンジ

⑦実践

<用意する物>

グローブ、ボール、バット、ベース、キャッチャー道具、救急箱、水、コップ

<注意点>

・ベースをちゃんと踏むこと

◎説明するときは図を使うこと

第7日目

細部のルール

<目標>

実践を行いながら細部のルールを教えていく

<進行>

- ①準備体操
- ②道具の用意
- ③キャッチボール
- ④キャッチボール（遠投）
———休憩———
- ⑤指導者側がピッチャー・ランナーとなりリード・牽制球・盗塁を教える
- ⑥実践（ピッチャー1人、ランナー1人、捕手1人の形）
- ⑦バントの説明
- ⑧バントの手本（セーフとアウトの場合）
- ⑨バントの手本（一塁にランナーを入れていく）
- ⑩バント実践
———休憩———
- ⑪実践（試合形式）

<用意する物>

グローブ、バット、ボール、ベース、ヘルメット、キャッチャー用具
救急箱、水、コップ

<注意点>

- ・あまりリードをとらない

第8日目

ノック+フリーバッティング+練習試合

<目標>

試合の流れを教える

<進行>

①準備体操

②道具の用意

③キャッチボール

④ノック（近距離）

⑤ノック（長距離）

———休憩———

⑥フリーバッティング（2ヶ所） はじめの5球はバントの練習

———休憩———

⑦練習試合（チーム分け）

<用意する物>

グローブ、バット、ボール、ベース、ヘルメット、キャッチャー用具
救急箱、水、コップ

第1回ネパール野球紹介活動の記録（ノートより）

1999年3月

ネパール野球紹介活動の企画案が出る。
メンバー集めが始まる。

6月24日

第1回ネパール野球集会
参加者の確認

参加者…赤松弘章、木戸孝彦、玉井一実、草竹啓之、花倉雄宇也、寺田宗平、
田嶋明子、武藤淳子、新道真理、横道由美子

6月25日

第2回ネパール野球集会

7月1日

第3回ネパール野球集会

7月8日

第4回ネパール野球集会

7月14日

第5回ネパール野球集会

7月20日

朝日新聞（夕刊）にネパール野球紹介活動の記事が掲載される。
（寄付金、道具集めの呼びかけをする。）

7月21日

第6回ネパール野球集会

7月23日

学校教員に募金活動のチラシを配布する。（教授、学生課、教務課、総務課、就職課）
近商ストアー、カラオケスタジオ KURUMAY、に募金箱を置かせてもらう。

7月26日

試験の休み時間に第1回学内募金活動を行なう。
（参加者：草竹、花倉、田嶋、武藤）

7月28日

15時からFM大阪「桂 九雀のワイワイジャーナル」の特集「ネパールに野球を伝えに行く」に松田先生と木戸孝彦、D.M.ヒラチャン氏が出演し、道具、資金の寄付を呼びかける。

7月30日

第2回学内募金活動

(参加者：赤松、木戸、玉井、寺田、新道)

7月31日

第7回ネパール野球集会

学内募金 集計結果 50,615円

8月6日

第8回ネパール野球集会

日本語紹介グループと顔合わせをする。

明日の街頭募金について話す。

8月7日

難波 プランタン前にて街頭募金活動を行なう。

(参加者：赤松、木戸、玉井、草竹、花倉、田嶋、横道)

集計結果 40,080円

8月11日

第9回ネパール野球集会

8月14日

藤井寺市の協力者宅へ野球道具を頂きに行く。

(参加者：赤松、木戸、草竹、花倉、田嶋、武藤、新道)

8月18日

第10回ネパール野球集会

- ・ 現地活動マニュアルの見なおし。
- ・ グラウンドでノックの練習をする。

8月22日

梅田 HEP FIVE 前で街頭募金活動を行なう。

(参加者：赤松、木戸、玉井、花倉、寺田、田嶋、新道)

集計結果 29,500円

短期アルバイトを行ない、給料をネパール野球に寄付する。

(参加者：草丈、横道)

8月25日

第11回ネパール野球集会

- ・ 集まった道具の整理
- ・ マニュアル見なおし

8月28日

弁天町にてフリーマーケット

(参加者：赤松、玉井)

集計結果 20,000円

8月30日

第12回ネパール集会

スポーツ用品会社 ZETT へ道具協力のお願いに行く。

(参加者：赤松、木戸、玉井、田嶋、新道、横道)

北野田の松本さん宅へ道具を頂きに行く。

9月1日

第13回ネパール野球集会

持っていく道具の整理をする。

9月3日

第14回ネパール野球集会

クーパー先生による礼拝を行なう。

持っていく荷物の確認をする。

ネパール語講座を開く。(先生：赤松)

9月5日

ネパール出発

13時発、18時45分 カトマンズ着

9月5日～9月7日

- ・ カトマンズ観光
- ・ ホームステイ
- ・ ネパールスポーツ文化大臣に会合を開いてもらいネパールに野球を広める活動の紹介と、協力を依頼する。

9月7日

ポカラに到着

9月8日

7時から

- ・ 初めて生徒と顔合わせをする。先生4名、生徒20名。

先生：ニマ、ラジス、クリシュナ、カドウカ

子供：アビシー、ゴートン、クリシュナ、ゲービ、サンジェイ、シス、シャム、

スバス、ソム、モヘス、チュール、ドゥルガ、ナウラチ、ニケス、ピクラム、

ピサイ、ピシュヌ、プレス、ラジュドゥー、ローション

- ・ 自己紹介をする。

・ 道具の紹介

グローブを一人一人手渡す。

- ・ キャッチボール (手本を見せてから本人たちがする。)

16時から

- ・ キャッチボールをする (フライとゴロを教える)
- ・ 5人ずつくらいに分かれてショートノックを受ける

9月9日

7時から

雨の為教室で行なう

全員の名前を聞いて名札を作る(担当: マネージャー)

黒板を使って野球のルールを説明する(担当: 花倉)

ビデオで野球のルールを見る。そして補足説明をする(担当: 田嶋)

9月10日

7時から

- ・ ランニング、ストレッチを教える
- ・ キャッチボールをする
- ・ バッティングを教える (見本を見せてから個人レッスンをする)
- ・ ユニホームをプレゼントする

15時から

- ・ ユニホームを着て練習する
- ・ キャッチボールをする
- ・ フリーバッティングをする(ラインもひく)
- ・ 軽く試合形式のものをする

9月11日

OFF

9月12日

16時から

- ・ 祭りのためグラウンド変更
- ・ キャッチボールをする
- ・ 2チームに分かれて試合 (ピッチャーは指導者が担当)

3回まで

エベレスト (ネパール語クラス) 対 ゴルカリ (英語クラス)

3 対 2 でエベレストの勝利

9月13日

7時から (バスのストライキにより遅刻)

生徒たちだけでウォーミングアップを済ませて試合をしていた。

- ・ シートバッティングをする (牽制球、アウトの説明)
- ・ 試合をする
3回まで
3 対 2 でエベレストの勝利

9月14日

7時から

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボールをしてから1ヶ所に分かれてノック
- ・ ファールとフェアの説明
- ・ 試合をする(主審:クリシエ先生)
3回まで 6 対 1でエベレスト卒の勝利

9月15日

OFF

9月16日

7時から

- ・ ウォーミングアップ
- ・ キャッチボール
- ・ シートバッティングをしてから希望ポジションを聞く
- ・ 最後に初のミーティング。ポジション紹介。

(昼) ミーティング

- ・ ピッチャー、キャッチャーは別メニューで練習
- ・ ノッカーは止まらずにひたすら打ちまくる
- ・ 円になって話すときは私たちも周りに座って生徒に緊張感を持たせる

☆ 練習中は禁煙

- ・ 明日17日は2チームに分かれてバッティングとノックをする。
その後、ベースランニングをする。午後は試合をする。

午前:ランニング、休憩、ノック、ベースランニング

☆ 試合、練習に関わらず、ナイスプレーをしたときは選手を誉めてあげる。

16時から

野球チームの先生方とミーティング

9月17日

末廣幸子さんと合流

7時から

- ・ ウォーミングアップとキャッチボール (マネージャーも参加)
- ・ ピッチャー、キャッチャーを別メニューで練習
- ・ 二つに分かれてバッティング(素振り)と希望ポジションについてノックする。
- ・ チームに分かれてフリーバッティング。守備もつく。

16時から

- ・ウォーミングアップとキャッチボール
- ・日本チームとネパールチームで試合をする。

7 対 1 で日本チームの勝利

MVPはビクラム君。(ちょうちんをプレゼントする)

(夜)ミーティング

=今日の反省=

- ・体操の時声を出すようにする
- ・疲れていても元気にふるまう

=明日の目標=

- ・ピッチャーを休ませる
- ・生徒に何が楽しいか聞く
- ・ワイルドピッチをしてはいけないことを説明する
- ・セカンドの守備位置について教える

9月18日

7時から

- ・ウォーミングアップとキャッチボール
- ・シートバッティングをしながらバントを少し取り入れていく
- ・1塁～2塁間のベースランニング練習

9月19日

OFF

9月29日

7時から

- ・ウォーミングアップとキャッチボール
- ・ルール説明
 - ・ワイルドピッチ
 - ・タッチアップ
 - ・タッチアウト
 - ・スチール
 - ・ダブルプレー
- ・ベースランニング

9月21日

7時から

- ・ウォーミングアップとキャッチボール
- ・内野と外野に分かれてノックをする
- ・日本チームとネパールチームの試合

1回表 13 対 0 で日本チームの圧勝

(昼)ミーティング

- ・ 今日の夕方練習は試合をする。(ゴルカリ対エベレスト)
- ・ 明日は最終日でゴルカリ対エベレストのエキシビジョンマッチ (14時半から 15時半まで)。15時半から終了式をする。
 - チーム旗と記念ボールを贈呈する。
 - 主審は全て自分たちです
 - エンタイトルツーベースは無効にする

16時から

- ・ ウォーミングアップとキャッチボール
- ・ 試合 ギルカリ 対 エベレスト

9月22日

14時から

ウォーミングアップとキャッチボール
ゴルカリ 対 エベレスト のエキシビジョンマッチ
12 対 3 (3回表まで)

終了式

記念ボール、記念盾、チーム旗をアマ・シンセカンドグリースクールへ贈呈する。
感謝状、記念品を学校側から戴く
花のプレゼントを生徒からされる

9月23日

ポカラ出発 カトマンズ着

9月26日

日本に帰国

ネパール野球紹介活動報告書

1999年10月11日
国際文化学部4年 赤松 弘章

現地スケジュール

9/8 (水)

- 8:00 初めて生徒と顔合せをする。(先生、4人 生徒、20人)
自己紹介。道具の紹介。グローブを生徒たちに与える。
キャッチボールの見本を見せて生徒たちに教させる。
- 16:00 キャッチボール。フライとゴロを教える。
5人ずつに分かれてショートノックをする。

9/9 (木)

- 7:30 雨のため教室で行なう。名札づくり。
おおまかな野球のルール説明。
ビデオで野球の試合を見せる。
補足説明、質問時間。

9/10 (金)

- 7:30 ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。
バッティングを教える。見本を見せてから個人レッスンを行なう。
生徒たちにユニフォームを与える。
- 15:00 ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。
フリーバッティング。
軽く試合形式のものをやる。

9/11 (土) OFF

9/12 (日)

- 16:00 祭りの為、グラウンドを変更しての練習。
ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。
2チームに分かれての試合。(しかし、ピッチャーとキャッチャーは、本学学生が行なう。) 3回までの試合で、結果3対2という好試合を果たす。

9/13 (月)

- 7:00 ストライキが起これバスが出ず、レンタサイクルで練習グラウンドへ。
- 8:00 ストライキによる遅刻。しかし、生徒たちはすでにウォーミングアップを済ませて試合をしている。
シートバッティング。牽制球。アウトの説明。
試合をする。3回まで。3対2。
- 10:00 見学に来ていた日本語チームと親善試合を行なう。

9/14 (火)

7:30 ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。

2カ所に分かれてノック。ファールとフェアの説明。
先生方に審判をしてもらい試合をする。3回まで。6対1。

9/15 (水) OFF

9/16 (木)

7:30 ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。

シートバッティングをしてから、生徒たちを交えてのミーティングを行なう。
ポジションの紹介をした後、希望のポジションを聞く。

16:30 ホテルに先生方を招き、野球をもっと理解してもらおう為のミーティングを行なう。

9/17 (金)

7:30 ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。

ピッチャーとキャッチャーを別メニューで指導。

他の生徒は、チームに分かれて、素振り、希望ポジションについてノックをする。
フリーバッティング。

16:00 ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。

JAPANチームとNEPALチームで試合を行なう。7対1でJAPANチームの勝利。

9/18 (土)

7:30 ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。

シートバッティングをしながら、バントを教える。
1塁と2塁のベースランニング。

9/19 (日) OFF

9/20 (月)

7:30 ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。

ルール説明を交えての練習。(ワイルドピッチ、タッチアップ、タッチアウト、スチール、ダブルプレー、牽制球)
ベースランニング。

9/21 (火)

ランニング、ストレッチ。
キャッチボール。

内野、外野に分かれてノック。

JAPANチームとNEPALチームで試合。13対0でJAPANチームの勝利。

9/22(水)最終日

14:00 ランニング、ストレッチ。

キャッチボール。

2チームに分けて、Exivisionゲームを行なう。

3回まで。12対3。

16:00 終了式

記念ボール、記念盾、チーム旗を贈る。

修了証明書、記念品を学校側から戴く。

第1回 ネパール野球紹介活動

活動記録

製作者：赤松 弘章

第1回 ネパール野球紹介活動 ～活動の内容～

期 間：1999年9月5日～9月26日

場 所：ネパール・ポカラ（アマ・シンセカンダリースクールのグラウンド）

参加者：11名（ほかネパール人留学生1名）

ネパール側の参加者：アマ・シンセカンダリースクールの生と約20名と先生約5名

1999年2月にプール学院大学が実施した「ネパール日本語交流研修プログラム」参加した野球部のメンバー3名の間で、松田浩志プール学院大学教授の提案で「野球の知られていない国ネパールに野球を広めよう」という話が盛り上がり帰国。

1999年9月に、上のメンバー3人を初め多くの参加者を募りポカラでアマシンセカンダリースクールの生徒約20名と共に活動を開始した。これが後に第一回ネパール野球紹介活動になる。

メンバー集めは、学校やバイト先の友人などに各自呼びかけて行なった。最終的に集まった人数は、11名であった。

また、この他に、ネパール人留学生（関西大学生）のブッシュハンさんが、通訳を始めとしてこの活動に協力していただき、現地での活動も共に行なった。

参加者は次の通りである。

第一回参加者

赤松弘章	リーダー	（プール学院大学4年）
木戸孝彦	副リーダー	（プール学院大学4年）
玉井一実	指導	（プール学院大学4年）
花倉雄宇也	指導	（プール学院大学3年）
草竹啓之	指導	（プール学院大学3年）
寺田宗平	指導	（プール学院大学3年）
末廣幸子	マネージャー	（服飾系専門学校生）
田嶋明子	マネージャー	（プール学院大学3年）
新道真里	マネージャー	（プール学院大学3年）
武藤淳子	マネージャー	（プール学院大学3年）
横道由美子	マネージャー	（プール学院短大2年）

野球道具・資金集めは、各自のアルバイト先、友人のアルバイト先、親や兄弟・友人、スーパー（榎塚台センター前のキンショウ）での募金箱の設置、ラジオ大阪での呼びかけ（木戸孝彦）、松田先生を通じた新聞での呼びかけ、街頭募金（難波・梅田で1回ずつ）、

学内募金、弁天町でYMCAが行なうバザーの参加、チラシの配布などを通して行った。

これに対してたくさんの方々から協力を得ることができた。集められた活動資金の一部は、野球道具購入として使用した。当時、道具不足で悩んでいたときに安価で野球道具を購入したいと各会社に問い合わせたところ出発直前にZETT(株)が協力のお願いを快く受け入れて頂き、必要な野球道具を購入することができた。

また、オリックスブルーウェーブからもボールやヘルメット・バットの道具提供の協力を頂いた。ユニホームに関しては、京都の宇治市にある大宮製作所からラジオを聞いたと問い合わせがあり、必要なユニホーム約20着(帽子、上下、アンダーシャツ、ベルトなど)を頂いた。また、スパイクに関しては、YMCAのバザーでポスターを見た方(内海章雄さん)が、昔靴屋を営んでいてスパイクが残っているからということで約200足を寄付していただいた。他にも、家庭で不用になった野球道具類の協力の問い合わせなどを頂き、全ての協力に対して、メンバー自ら直接訪問し受け取った。

そして必要な野球道具は集めることができ、プール学院大学が行なう日本語研修と共に、「第1回ネパール野球紹介活動」を1999年9月5日～9月26日の期間で行った。

現地での活動を行なうため、日本で事前にミーティングを行ない、毎日の活動

マニュアルを作成し、第1日目はキャッチボールというように毎日の練習の細かいところまで話し合った。そして、現地アマ・シンセカンダリースクールの生徒約20名(ネパール語クラス約10名、英語クラス約10名)と先生5名で「野球とは何か?」をテーマに野球のルールの説明・実践を中心に行った。また、アマ・シンセカンダリースクールの生徒20人の活動に関してはマニュアルを元に行なったが、子供たちの理解度は予想以上に早く途中からマニュアルを使用せずに行なった。また、試合を行なうときなどの為に、ネパール語クラスをマウントエベレスト、英語クラスをゴルカリというチーム名を付けて練習した。(このチーム名は生徒の希望で決定したもの)

また、活動中は日本語研修の活動内容をモデルにしていたため、前夜に必ずミーティングを行なった。

第1回ネパール野球紹介活動は、まず野球のルールの紹介を中心に行ない、野球が楽しくできるようなことを目指した。

そして最後に生徒たちの希望で「ポカライエティーズ」というチーム名をアマ・シンセカンダリースクールにプレゼントし、チーム旗とともにプレゼントした。

グループ名については「ネパール野球紹介活動グループ」と決め、当時は所属先を定められていないグループであった。

第1回 ネパール野球紹介活動 活動記録

9月8日

ポカラにて練習を開始

練習内容

オリエンテーション…自己紹介、野球の簡単な話、キャッチボール。

アマ・シンセカンドリースクールの13歳から15歳までの生徒約20名と先生2名で始めた。校長先生からの「夕方からも練習をしたい」という要望を受け、午後4時過ぎから練習を開始した。

練習内容

キャッチボール（フライ、ゴロを取り入れた。）

※ その後ノックを予定していたが、雨が降り中止。

9月9日

終日雨の為、ルールの説明を行なった後、日本のプロ野球、高校野球のビデオをみて説明した。

9月10日

朝7時半～9時半、夕方16時～18時という練習時間を設定した。

練習内容

朝は近距離ノック、夕方はフリーバッティングを行なった。

京都の大宮製作所から頂いたユニホームを子供たちに配布した。

9月11日

休日

9月12日

練習内容

試合をした。

ファーストのアウト、フライアウト以外のアウトは理解されていない。

9月13日

交通機関がストライキのため、レンタサイクルにて移動をした。

練習内容

少し試合をした。

9月14日

練習内容

ノック、試合（英語クラスとネパール語クラスの二つのチームに分けた）

9月15日

休日

9月16日

練習内容

野球の危険性と責任感についての説明

- ・ バットをふるときは、周りに注意する。
- ・ ボールが道に転がったときは、道に飛び出さない。
- ・ 野球を伝えていかなければならない。そのためにも集中して練習に取り組む事。

最後に「いつの日か最高のプレーヤーになろう！」と呼びかけて練習を終了した。

ミーティングの内容

練習中に日本人指導者が私語や喫煙をしていたことに対して、私語の禁止、喫煙の禁止という約束事を決めた。

9月17日

練習内容

朝は2チームに分けて、ノックとバッティング練習を行なった。

夕方は、ジャパン対ネパールで試合を行なった。(試合結果 7-1で日本の勝利)

※この試合は子供たちの希望で行われた。

最後に日本からのお土産のちょうちんをみんなにプレゼントした。

9月18日

肩の筋肉痛を訴える人が多かった。

キャッチボールのあと、チームを二つに分けての指導者も混合でフリーバッティングをした。

ベースランニング (1塁走り抜け、1塁から2塁まで)

スライディングの紹介

9月20日

ルールの理解を深めるためにルールの説明を行なった。

改めて全ルールを紹介し、ダブルプレー、フライアウトの時のランナー飛び出し・タッチアップの説明として、指導者が例を見せた。

その後、指導者がピッチャーになって、牽制球を取りこんでのベースランニングをした。

ネパール、ポカラでの野球紹介活動

ブール学院大学では、96年からネパールとミャンマーにおいて文化交流の一環として、現地の人々に日本語を教えまた異文化を体験する活動をしている。

99年度も、2月にネパールにおいてこの活動が行われた。そこで参加した野球部員であるメンバー3名が、ネパールでは野球が知られていないことを知り、野球を広めていこうと動き出した。

そのために、11名の同志を募り、現地では野球道具が一切無いため、街頭募金・学内募金そして道具類寄付を呼びかけた。その結果野球を紹介するに十分な道具そして資金が集まった。

この活動の概要は以下のとおりだ。

期間： 1999年9月7日～1999年9月28日

場所： Amar Singh High School、ポカラ、ネパール

指導者：男性6名、女性5名

通訳：一名

参加者：学生20名、先生5名

目的：

1. ネパールと日本の文化交流を深めるため
2. 日本でも愛されている野球の楽しさを理解してもらう
3. ネパールのスポーツ文化の向上
4. ネパールがスポーツにおいて国際舞台で活躍するための手段

内容：

首都カトマンズでの活動

ネパール国スポーツ文化大臣と会談し、キャッチボールの紹介をし、ネパールでの野球普及における協力の要請を行った。

ポカラでの活動

最初にキャッチボールを実際に体験してもらいボールを投げる・捕る練習をした。次に教室にて野球のルールの基本的な説明（日本のプロ野球のビデオを見せてイニングのチェンジやアウトの説明）をした。その後野球の実践・指導に移り素振り、ノック、フリーバッティングなどの練習方法の紹介、また何故それが必

要かを教えた。その間に実戦練習を取り込み、学生に試合の楽しさを理解してもらえようにした。当分それを繰り返し、ピッチャーなど専門的なポジションに振り分け強化練習に移った。実戦練習を繰り返す間に選手同士だけで試合ができるようになった。

また、先生ヘルールの詳細の説明、そして練習方法を個別で指導しネパールの指導者としての育成を行った。

さらに、今回教えた参加者に **POKHARA YETIS** というチーム名及び旗をプレゼントしネパールで初めてのチームを誕生させた。

苦労した点 / 改善策

1. まったく野球を知らなかったのが何が良いのか悪いのかを理解されにくかった。
 - ・ 指導者が実際に良いプレイ、悪いプレイ、さらにはファインプレイまで例を見せて頭の中でイメージを作ってもらった。
 - ? 参加者が良いプレイをすると盛り上げるようにした。
2. 基礎練習の繰り返しのため参加者の活気が徐々に薄れてきた。
 - ? ネパールで野球を広めていく先駆者という責任感を感じてもらい、練習に参加してもらいたいと訴えかけた。
 - ? 指導者側の緊張感を高め私語を慎み集中できるようにした。
 - ? 各ポジションの役割とそれに何故練習が必要か説明した。
3. マネージャーが球拾いを手伝っていたため、参加者はボールを拾いに行かなくなった。
 - ? マネージャーの球拾いを中止し、参加者自ら取りに行くように指導した。

反省

1. 英語版ルールブックの用意をしなかった。
2. 実践練習ばかりでルールの説明が不十分だった。
3. 世界での野球の人気を紹介する材料が不十分だった。
4. 参加者（先生）とのミーティングが十分に取れなかった。
5. 野球以外での参加者との交流が少なかった。

ネパールへ伝えた日本独特の野球言語

1. 試合前後の挨拶（お願いします、有難うございました）
2. 掛け声（体操の掛け声、集合、整列）

ユニホームを頂いた「大宮製作所」が京都軟式野球連盟宇治支部の『創立50周年記念誌「50年史」』という書籍の中で紹介されたときの記事：

大宮製作所（登録チーム）から国境を越え『愛の手を』（平成11年）

ラジオから、ネパールの子供達に野球を教えたいが用具がないし困っているメッセージを耳にした社員が、チームの監督である湯浅俊昭取締役相談した。

相談を受け、当初はためらいもあったけれども、更新し使用してなかったユニフォーム（上下21名分）と帽子に気付き、「あった方がよい・・・」と思い、ウチので間に合うなら・・・とラジオ番組窓口に連絡し、プール学院大学国際学部で学ぶネパール留学生に送ることにした。

大宮製作所は、当支部に昭和40年から登録しB級に所属していた古豪チームで一時中断していたが、再出発され、吉田等社長を代表にして会社あげてのまとまりある好チームである。

これを機に、チームワークの向上と当支部でA級常勝チームの活躍を期待する。



呼びかけした選手



ネパールに送付されたユニフォームを着て野球を楽しんでいる学生達

現地での野球紹介活動の概要（期間9月7日～23日）

- ・文化交流を深めるために、野球の楽しさを理解してもらうことからネパールのスポーツ文化向上を目標に活動している。
- ・参加者は学生20名、先生5名。
- ・ボールを投げる、捕る練習をし、ルールの説明（ビデオ）の後、実戦練習を繰り返す間に試合ができるようになった。
- ・チーム名 POKHARA YETISと旗をプレゼントし、チーム誕生した。